

令和6年度
生活時間調査アンケート
結果報告書

令和6年11月
新潟工業短期大学
IR室

目 次

I. 生活時間調査アンケートの概要	2
(1) 調査目的	
① 調査対象及び調査方法	
② 回答者数	
③ 調査時期	
④ 調査内容	
II. 調査結果	4
(1) 予習のレベル	
(2) 復習のレベル	
(3) 睡眠時間	
(4) 食事時間 (朝, 昼, 晩 三食分 調理時間も含む)	
(5) 通学時間 (往復)	
(6) 予習・復習の合計	
(7) クラブ活動または趣味の時間	
(8) アルバイトの時間	
(9) その他1 生活時間 (掃除, 洗濯, 買物, 等)	
(10) その他2 上記以外の時間 (ゲーム, テレビ, 等)	
III. 日本人学生と留学生の比較	9
(1) 生活習慣と学習習慣の関係	
IV. まとめ	10
V. 参考資料: アンケート設問用紙	11

I. 生活時間調査アンケートの概要

(1) 調査目的

新潟工業短期大学の授業や宿題の量の検討を行うため、本学の在校生（1・2年次生）を対象に、一日の生活時間全体の中で学習時間をどのように確保しているかを調査した。

① 調査対象及び調査方法

本学の在校生（1・2年次生）に対して、マークシート方式で調査を行った。

② アンケート回答者数

1年次生：139名

2年次生：48名

③ 調査時期

令和6年8月

④ 調査内容

一日の生活時間のうち、下記（1）～（10）までの項目に対して、該当する内容や時間に近いものを①～⑤から選択する。

No.1 予習のレベル

①：「何もしない」

②：「教科書を読む」

③：「教科書を読む,問題を解く」

④：「教科書を読む,問題を解く,不明箇所を調査」

⑤：「教科書を読む,問題を解く,不明箇所を調査,問題を解く,質問をまとめる」

No.2 復習のレベル

①：「レポート作成」

②：「レポート作成,宿題をやる（分かる範囲で,又は人に聞く）」

③：「レポート作成,宿題をやる（自力で全部）」

④：「レポート作成,宿題をやる（自力で全部）,ノートを整理する」

⑤：「レポート作成,宿題をやる（自力で全部）,ノートを整理する,質問をまとめる」

No.3 睡眠時間

①：5h ②：6h ③：7h ④：8h ⑤：9h～

No.4 食事時間（朝,昼,晩 三食分 調理時間も含む）

①：30min ②：1h ③：2h ④：3h ⑤：4h～

No.5 通学時間（往復）

①：30min ②：1h ③：2h ④：3h ⑤：4h～

No.6 予習・復習の合計時間

①：10min ②：30min ③：1h ④：2h ⑤：3h～

- No.7 クラブ活動または趣味の時間
① : 0 ② : 1h ③ : 2h ④ : 4h ⑤ : 5h～
- No.8 アルバイトの時間
① : 0 ② : 1h ③ : 2h ④ : 4h ⑤ : 5h～
- No.9 その他1 生活時間 (掃除,洗濯,買物,等)
① : 1h ② : 2h ③ : 3h ④ : 4h ⑤ : 5h～
- No.10 その他2 上記以外の時間 (ゲーム,テレビ,等)
① : 2h ② : 4h ③ : 6h ④ : 8h ⑤ : 10h～

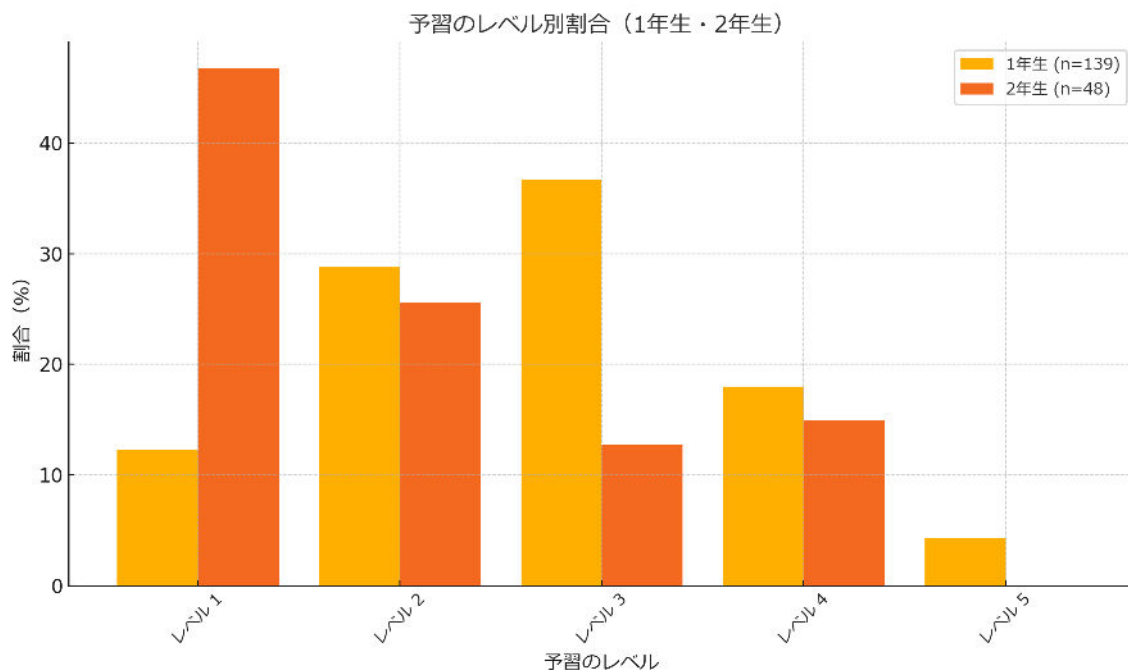
II. 調査結果

(1). 予習のレベル

1年生：最も多いのは「教科書を読む,問題をとく」レベルで、予習に取り組んでいる学生が比較的多いことがわかる。

2年生：「何もしない」の割合が高く、1年生と比べて予習への積極性がやや低い傾向が見られる。

全体的な傾向：2年生が予習に対して消極的であるため、予習の習慣を支援する対策が考えられる。

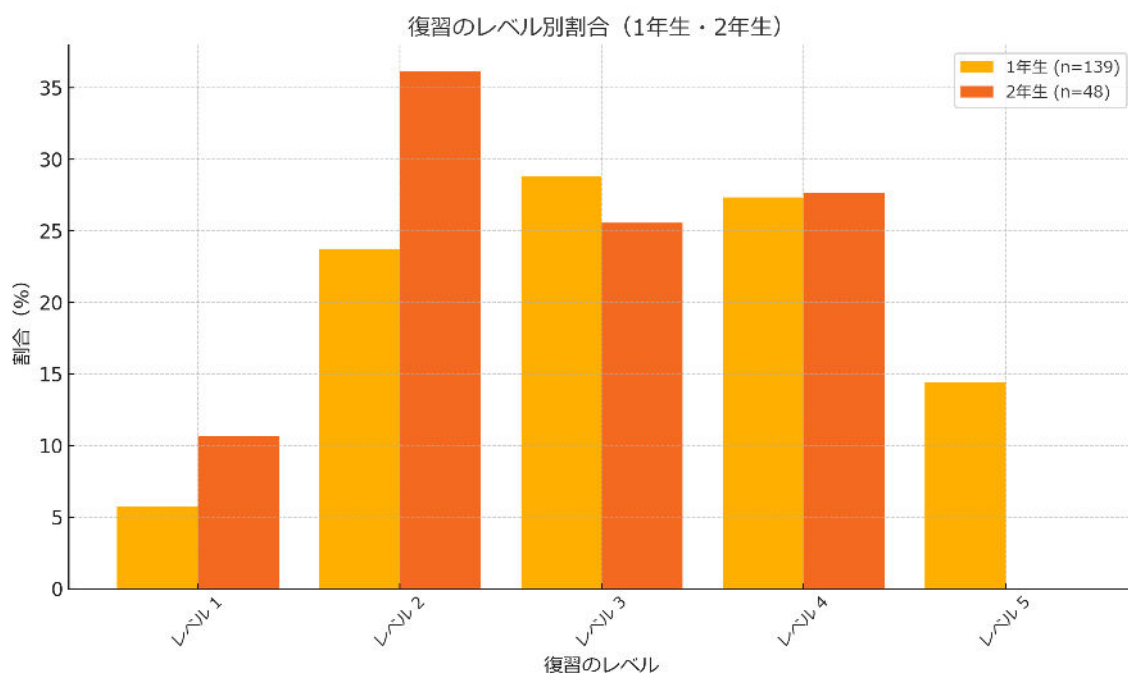


(2). 復習のレベル

1年生：「レポート作成、宿題をやる（自力で全部）」の割合が最も高い

2年生：「レポート作成、宿題をやる（分かる範囲で、または人に聞く）」の割合が最も高い。

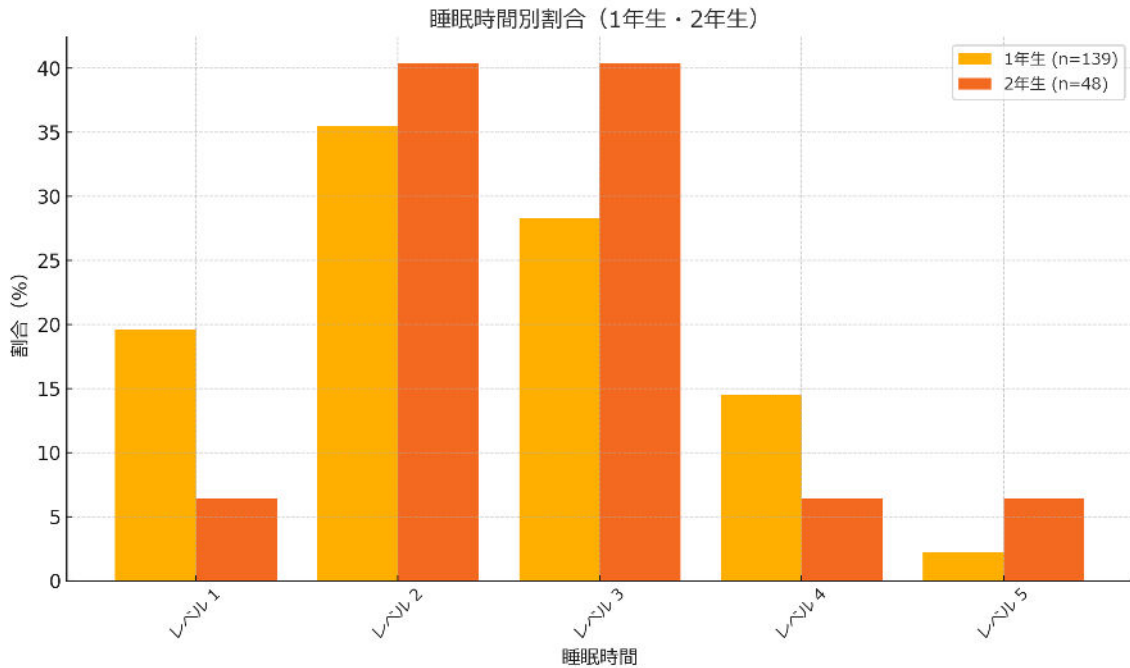
全体的な傾向：復習の取り組みにおいて1年生・2年生ともに、基本的な復習をこなしている様子が見える。1年生は2年生と比較すると、より積極的に復習を実施していることがわかる。



(3). 睡眠時間

1年生・2年生ともに：ほとんどの学生が6時間以上の睡眠をとっており、健康的な生活リズムを保っていると考えられる。

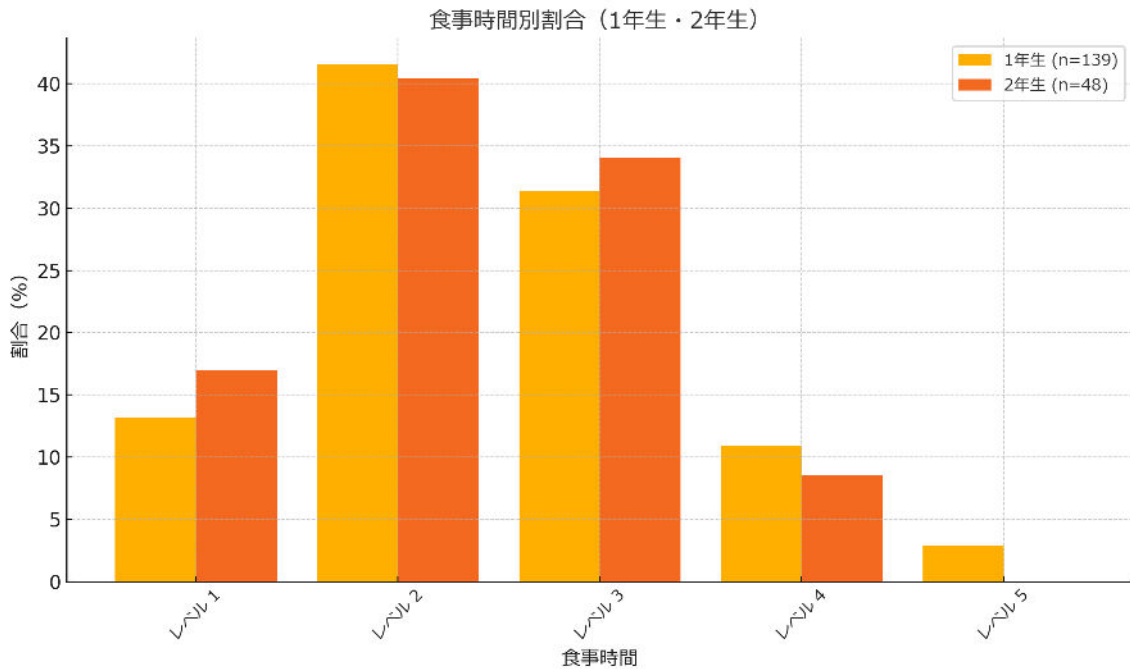
全体的な傾向：特に問題はなさそうだが、一部の学生が6時間未満の睡眠を取っている可能性があり、過剰な学習時間やアルバイトの影響がないか注意が必要である。



(4). 食事時間（朝、昼、晩 三食分 調理時間も含む）

1年生・2年生ともに：1時間以上の食事時間を確保している学生が多く、食生活には特に問題はないようである。

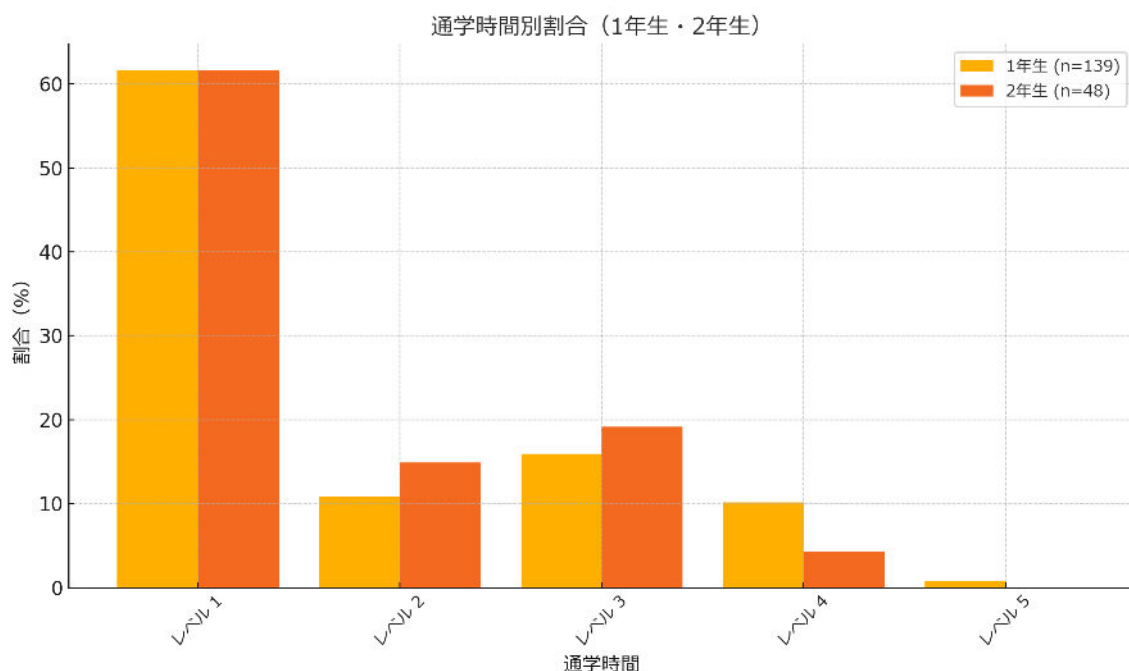
全体的な傾向：一部の学生で食事時間が短いことが見られ、栄養バランスの改善が必要かもしれない。



(5). 通学時間 (往復)

1年生・2年生ともに：大半の学生が通学に2時間以内を費やしており，片道1時間以内に収まる学生が多い。

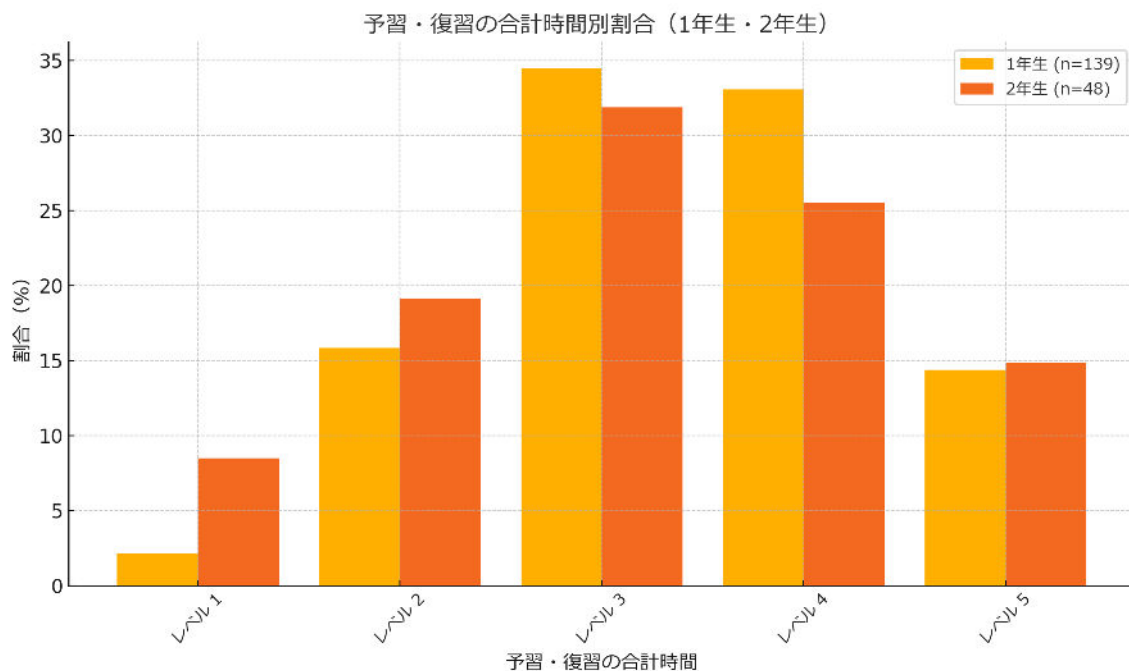
全体的な傾向：通学時間が学業に大きな負担をかけていないように見えるが，交通手段や時間を改善できれば学業のための時間が増やせる可能性がある。



(6). 予習・復習の合計時間

1年生・2年生ともに：最も多いのは「1時間」で，1日あたりの予習・復習の時間が短い傾向にある。

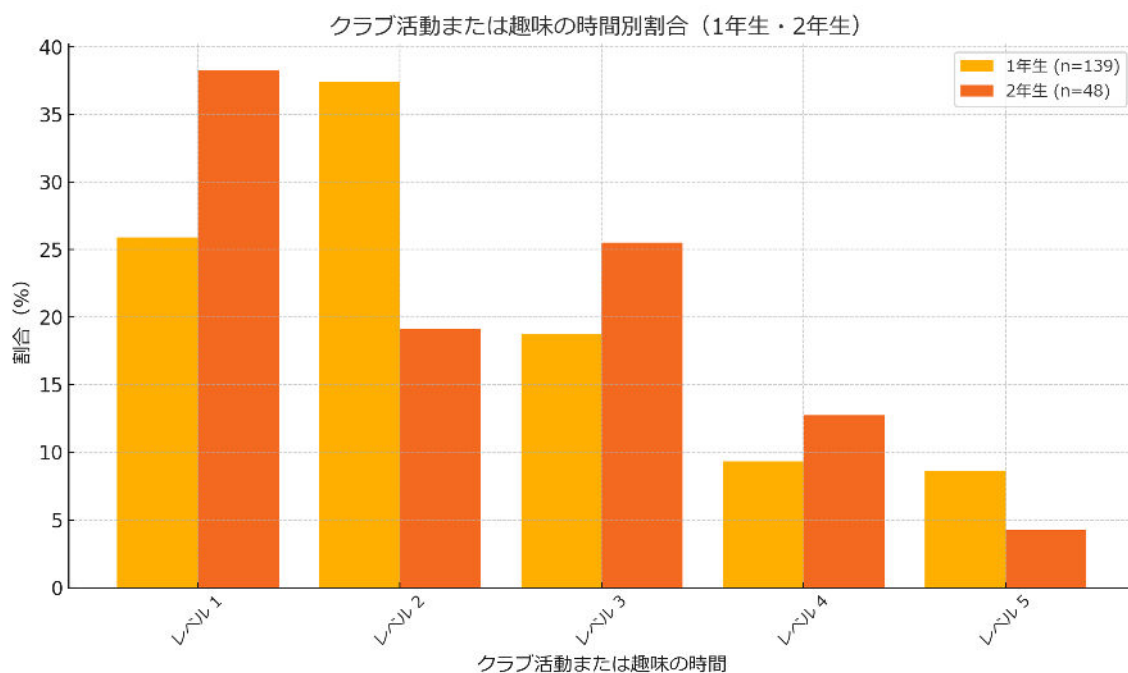
全体的な傾向：学習時間の確保に課題がある可能性があり，追加のサポートや時間管理の指導が役立つかもしれない。



(7). クラブ活動または趣味の時間

1年生・2年生ともに：1時間以上をクラブ活動や趣味に費やしている学生が多く、学業と課外活動のバランスを取っている様子が見える。

全体的な傾向：健康的な生活習慣の一部として、趣味や活動の時間が確保されていることは良い点だが、学業が疎かにならないよう注意が必要である。

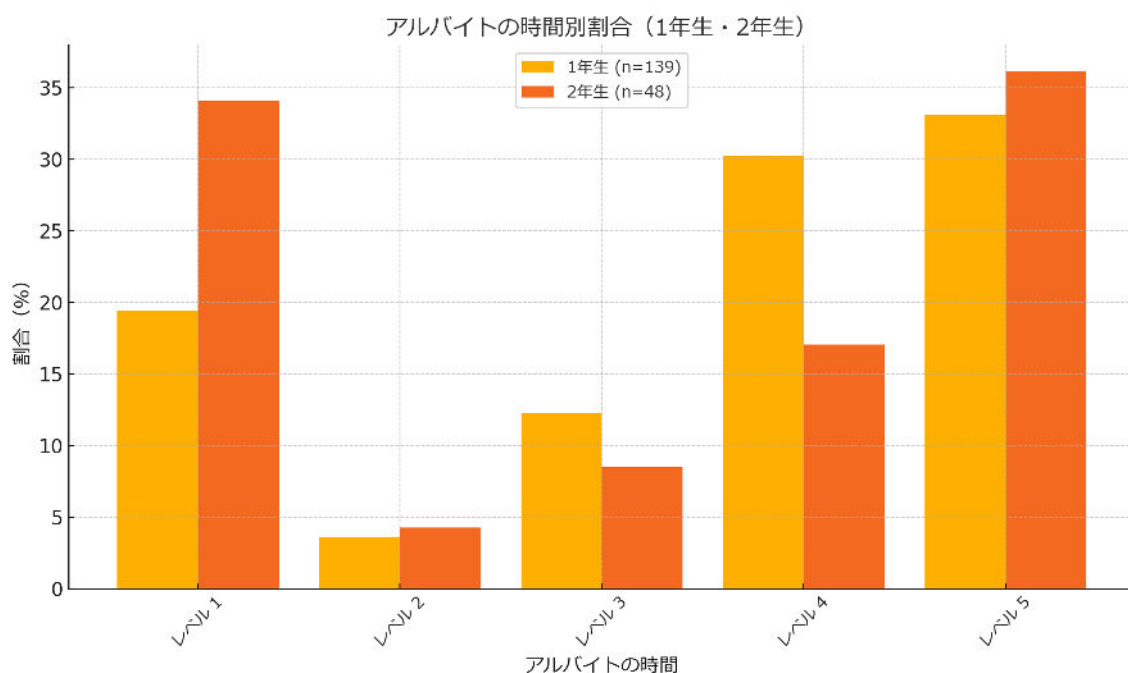


(8). アルバイトの時間

1年生：4時間以上のアルバイトをしている学生が60%以上であり、生活の一部としてアルバイトに従事している。

2年生：2年生の50%以上が4時間以上アルバイトを行っており、経済的な必要性が見える。

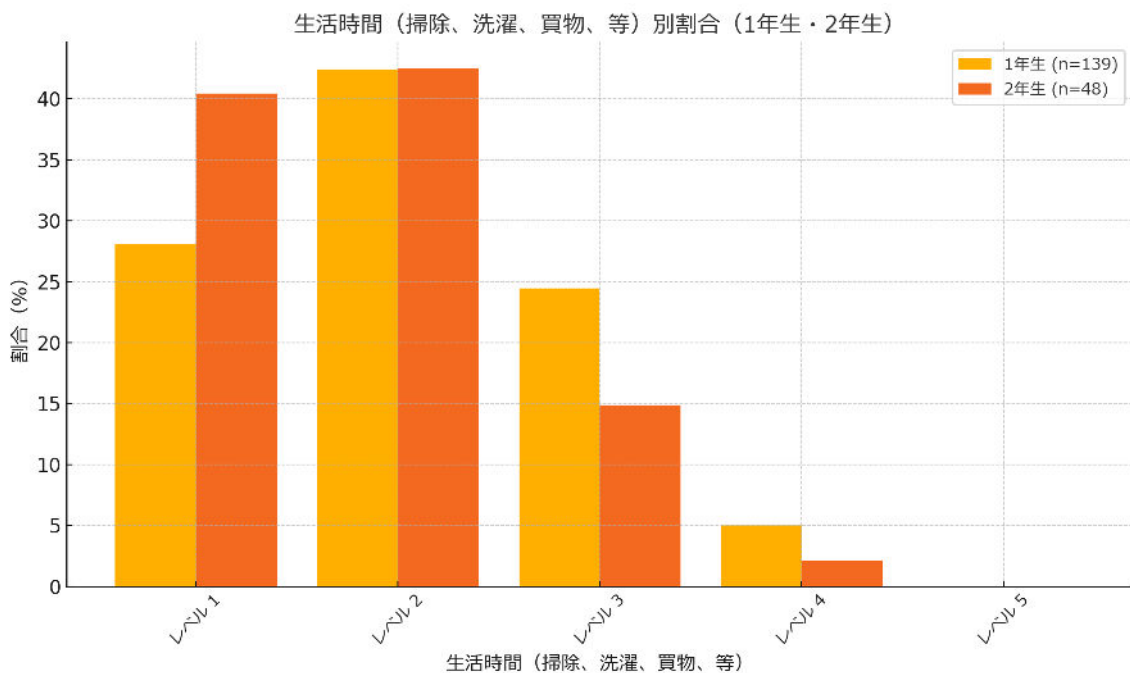
全体的な傾向：1年生においてアルバイトの割合が高く、学業に支障が出ないようなサポートが必要と考えられる。



(9).生活時間（掃除、洗濯、買物、等）

1年生・2年生ともに：大半が2時間以内で生活時間を管理している。

全体的な傾向：家庭での生活管理ができている様子が見られるが、負担が過大でないかを確認することも重要である。



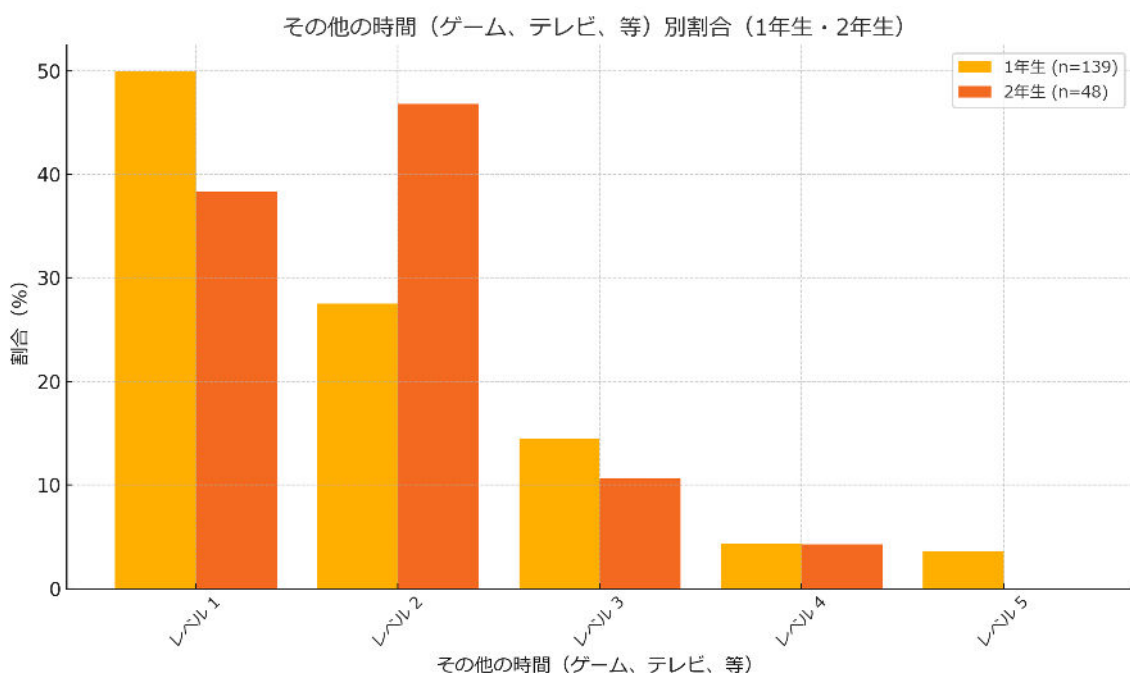
(10). その他の時間（ゲーム、テレビ、等）

1年生：50%が2時間の時間をこの項目に費やしている，アルバイト時間の多さや学業に積極的に取り組んでいることから，そういった活動に影響が出ない適切な範囲に留まっている。

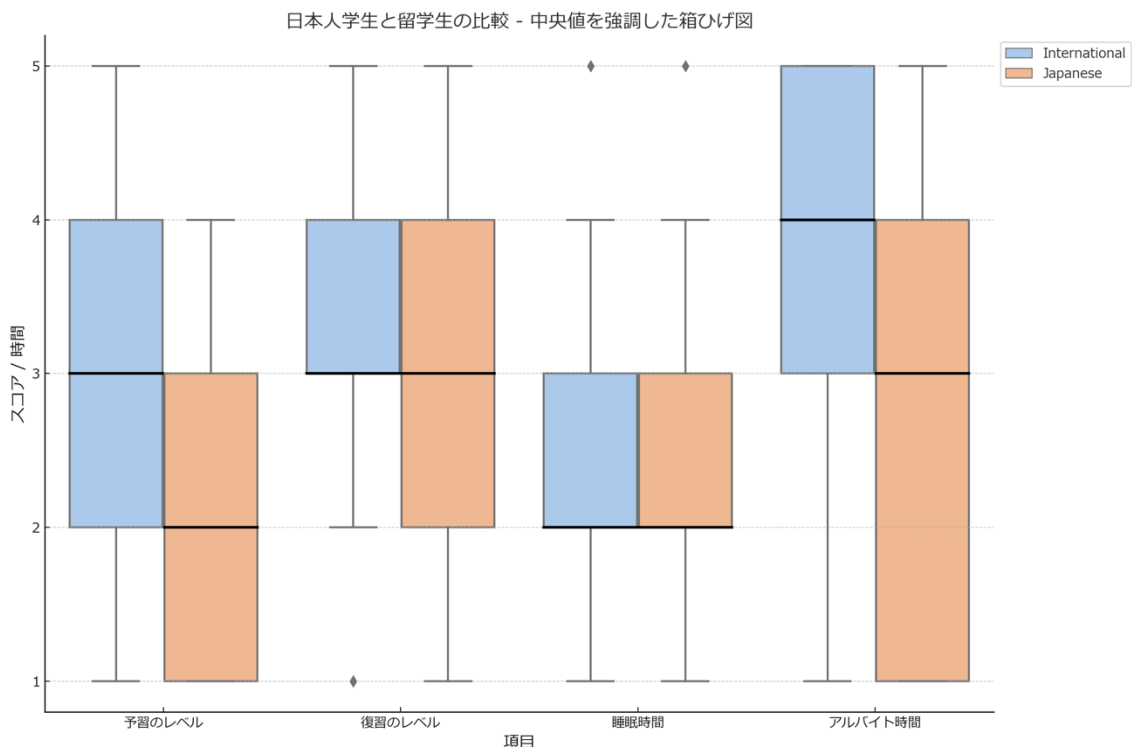
2年生：45%の学生が4時間以上であり，全体的には1年生よりも多い傾向にある。

全体的な傾向：長時間の余暇活動が，その他の生活時間に影響を及ぼさないよう配慮が必要である。

全体として，1年生は比較的バランスを保ちながらも学習に時間を費やしている一方で，2年生はアルバイト時間や余暇時間が増加し，学習や予習に対する意識が低下している可能性が見られる。



III. 日本人学生と留学生の比較 (1) 生活習慣と学習習慣の関係



1. 予習のレベル

日本人学生：中央値は「2」（教科書を読む）であり、50%を意味する四分位範囲（以下、箱と記す）の範囲が低く、多くの学生が「教科書を読む」レベルに留まっていることがわかる。全体的に予習への取り組みは少ない。

留学生：中央値は「3」（教科書を読む，問題を解く）であり，箱が高い位置にある。これは，留学生が予習に積極的であることを示している。

2. 復習のレベル

日本人学生：中央値は「3」（教科書を読む，問題を解く）であり，四分位範囲は予習に比べ高い値を示す。箱は広く，積極的に復習に取り組む学生と控えめな学生の両方が存在する。

留学生：中央値は「3」であり，四分位範囲が高い位置で狭く，復習への取り組みが日本人学生よりも高いことがわかる。

3. 睡眠時間

日本人学生：中央値は「6～7 時間」で，ほとんどの日本人学生が安定した睡眠時間を確保していることが示されている。

留学生：睡眠時間の中央値も「6～7 時間」であるが，より詳細に分析をすると，日本人と比較して，回答は分散されており，個々の生活リズムにばらつきがあることがうかがえる。

4. アルバイト時間

日本人学生：中央値は「3 時間以上」であり，短時間のアルバイトに従事している傾向が見られる。箱が広く，アルバイト時間が比較的均一であることがわかる。

留学生：中央値は「4 時間以上」に位置しており，多くの留学生が長時間のアルバイトを行っていることがわかる。棒が下方に伸びており，労働時間に個人差がある。

総合評価

日本人学生は学習（予習・復習）に対して積極的ではなく、生活習慣は安定している。一方、留学生は学習とアルバイトの両方に積極的で、生活リズムに個人差が見られる。特にアルバイトに多くの時間を割いている留学生に対しては、学習と仕事のバランスを取る支援が有効であると考えられる。

IV. まとめ

生活時間調査アンケートは、調査目的でも述べているとおり、本学の授業や宿題の量の検討を行うために、一日の生活時間全体の中で学習時間をどのように確保しているかを調査するものである。最も関連性の高い調査項目は「予習・復習の合計時間」であるが、1年次生、2年次生ともに「1時間」の割合が最も高い結果となった。また、予習のレベルを見ると、1年次生は「教科書を読む、問題を解く」の割合が最も高く、2年次生は「何もしない」が最も高い結果であった。復習のレベルについては、1年次生では「レポート作成、宿題をやる（自分で全部）」が最も高い結果となっている。2年次生では「レポート作成、宿題をやる（分かる範囲で又は人に聞く）」が最も高い結果となった。

今年はさらに、日本人学生と留学生の比較も実施した。日本人学生は「教科書を読む」レベルでの予習が多く、全体的に学習への積極性が低いことが示された。一方、留学生は「教科書を読む、問題を解く」など、より積極的に予習に取り組んでおり、学習習慣が日本人学生よりも高い傾向が見られた。また、復習に関しても、留学生の方が積極的に取り組む割合が多く、学習意識の違いが見られることが分かった。

以上から、本学の授業や宿題の量について、「予習・復習の合計時間」1時間程度であることから若干少ないものと考えられるが、「予習・復習のレベル」の結果から学習時間は復習が主体となっていることが分かる。また、特に日本人学生に対して、学生自ら予習に取り組む姿勢を育むことが重要であり、各授業においても予習学習の推進を図る取り組みが必要と考えられる。留学生と日本人学生の学習姿勢の違いを考慮し、それぞれに合った学習支援策の検討が求められる。

令和6年11月25日
新潟工業短期大学 IR室長
川崎信隆

V. 参考資料

生活時間調査アンケート

新潟工業短期大学
教務委員会

このアンケートは、皆さんの一日の生活時間全体の中で、学習時間をどのように確保しているかを調査するものです。授業や宿題の量の検討に使用しますので、正直にお答え下さい。

- 回答はマークシートに記入して下さい。
- 鉛筆で記入して下さい。
- 調査結果はあなたの成績に影響することはありません。

1. 基本項目の記入

- 学年の番号を塗りつぶして下さい。
- クラスのアルファベットを塗りつぶして下さい。
- 学籍番号を塗りつぶして下さい。
- 問題番号は 900000 を塗りつぶして下さい。

2. No.1～No.10 までの項目について、①～⑤の中から、あてはまる番号を選び、マークシートを塗りつぶして下さい。

(1) あなたの予習・復習のレベルについて、下表の中から該当する番号を選んで下さい。

	項目	①	②	③	④	⑤
No.1	予習	何もしない	教科書を読む	教科書を読む 問題を解く	教科書を読む 問題を解く 不明個所を調査	教科書を読む 問題を解く 不明個所を調査 質問をまとめる
No.2	復習	レポート作成	レポート作成 宿題をやる 分かる範囲で 又は人に聞く	レポート作成 宿題をやる 自力で全部	レポート作成 宿題をやる ノートを整理する	レポート作成 宿題をやる ノートを整理する 質問をまとめる

(2) あなたの一日の生活時間について、No. 3～No. 10までの項目の時間に近い時間を、下表の中から該当する番号を選んで下さい。

	項目	①	②	③	④	⑤
No.3	睡眠時間	5h	6h	7h	8h	9h～
No.4	食事時間（朝、昼、晩 三食分 調理時間も含む）	30min	1h	2h	3h	4h～
No.5	通学時間（往復）	30min	1h	2h	3h	4h～
No.6	予習・復習の合計時間 （実習レポートや宿題をやるのも学習時間です） （自宅だけでなく、大学内や電車内も含みます）	10min	30min	1h	2h	3h～
No.7	クラブ活動または趣味の時間 （やっていない人は0時間です）	0	1h	2h	4h	5h～
No.8	アルバイトの時間 （やっていない人は0時間です）	0	1h	2h	4h	5h～
No.9	その他1 生活時間（掃除、洗濯、買物、等）	1h	2h	3h	4h	5h～
No.10	その他2 上記以外の時間（ゲーム、テレビ、等）	2h	4h	6h	8h	10h～
	大学での授業時間（平均で5時間としました）	5h				

注) クラブ活動のない日に、アルバイトをしている等、毎日でない場合は、平均時間を入れて下さい。